

大軍拡・大増税許すな！ 大阪平和委員会総会を開催

大阪平和委員会は、5月12日大阪市中央区内で第68回定期総会を昨年より多い41人の出席で開きました。

近藤理事長の司会のもと、最初に山本陽子副会長が開会あいさつを行いました。その後、西晃会長(左写真)が恒例の憲法講演を行いました。

1. 軍隊がチカラを持ち偉そうにする。
2. 一部の人が自分たちで重要な決定をするようになる。
3. 情報が一握りの人に独占されるようになる。(情報統制)



4. 日常の中に、戦争が深く根を張るようになる。(軍国主義国家)

5. 良い悪いの価値観を権力が指示するようになる(教育・文化統制)

6. 日常が常時監視されるようになる。(監視国家)

7. お金の使い道(予算)が軍事優先になる。富が偏在するようになる。(格差・不正社会)

8. 国が一番大事という考え方が当然のこととなる。(国家主義・地方政治軽視)

西会長の憲法講演の後、この1年間の25名の物故者に黙祷を捧げました。

次に片方真佐子副会長と青年学生部の伊地知浩平さんが議長に選出されました。

次いで来賓あいさつとメッセージの紹介の後、役員の内候補の受けつけが開始されました。



この後、上羽事務局長が沢山の写真を使いながら2023年度活動報告と2024年度の活動方針の提案を行いました。

次いで吉田事務局次長が23年度の財政報告と新年度財政方針提案した後、加藤秀雄さんが会計監査報告を行いました。

この後、地域、職場、青年などから元気な発言が相次ぎました。

休憩後討論に移り、地域から元気あふれる取り組みの報告がなされました。都島、東住吉、高槻・島本、西淀川、堺、東大阪、ミナミ、八尾、天王寺、青年学生部などが発言しました。

この討論のあと、2023年度活動総括・収支、2024年度活動方針・予算案及び役員案が全員の拍手で承認されました。仲間づくり顕彰では14名に図書カードが贈られました。



選出された役員は以下の通りです。*敬称略

◇会長―西 晃
◇副会長―岩田幸雄、山本陽子、片方真佐子、

◇理事長―近藤正
◇副理事長―中村玉枝、上羽治雄

◇事務局長―亀井明子
◇事務局次長―吉田一江、太田弘司

◇会計監査―加藤英雄、西山幸代
◇常任理事31名、理事12名
◇顧問―小林徳子

総会では26名の物故者に黙祷をささげました。
なお、総会には次の団体より心温まるメッセージが寄せられました。

ここに記して改めてお礼申し上げます。

1. 大阪ALLA連帯委員会

2. 大阪憲法会議・共同センター

3. 大阪府保険医協会
4. 大阪府歯科保険医協会

5. 大阪民主医療機関連合会
6. 原水爆禁止大阪府協議会

7. 全大阪生活と健康を守る連合会
8. 非核の政府を求める大阪の会

9. 日本共産党委員会
10. 平和を願い戦争に反対する大阪戦没者遺族の会

亀井新事務局長の決意

新しく事務局長になりました亀井です。総会では、西会長の講演に学び、地域の組織や青年など各分野での頑張りや多彩な活動を共有できて素晴らしい総会でした。諸先輩、仲間と共に戦争させない、平和、民主主義、人権を守る活動をこれまで以上に頑張る決意をあらたにしました。上羽さん、吉田さん、総会に携わった皆さんお疲れさまでした。よろしくお願ひします。

【6月の行事案内】

- 5日(水) 常任理事会 18:00~
- 7日(金) 沖縄県議告示(16日投票)
- 13日(木) 日本平和委員会常任理事会 15:00 垂水区文化センター
- 14日(金) 日本平和委員会全国大会全大会(~15日) 13:30 垂水区文化センター
- 16日(日) 沖縄県議会選挙投票日
- 23日(日) 6・23近畿のつどい 14:00 国労大阪会館
- 29日(土) 大阪母親大会 12:45 クレオ大阪中央

憲法「9条変えるべきか」が「変えるべき」を上回る―憲法アンケート

5月3日は憲法記念日。改憲が議論されるなか、道行く若者たちは憲法についてどう考えているのか。

大阪平和委員会青年学生部と青年協議会は、この日8回目の「若者100人に聞く憲法アンケート」を阿部野橋歩道橋周辺で午前9時30分から11時30分まで計21人で実施しました。

アンケートに答えてくれた若者は104人（内訳は12歳〜36歳で平均年齢は16・58歳）でした。

憲法アンケートに対する青年学生部の見解―

本日施行76年目を迎え、日本国憲法について改憲が議論される中、道行く若者たちにはどのようなに映っているのか。憲法についてどう考えているのか、私たちが大阪平和委員会青年学生部は、2014年から8回目の「若者100人に聞く憲法アンケート」を実施し、大阪の若者の意識調査を行った。

昨年12月の「安保3文書」の閣議決定を受けて、防衛費の増額についての設問を加えた。全国での集計については後日、日本平和委員会機関紙「平和新聞」紙面にて発表する。

以下が主な設問とその回答結果。

設問1「5月3日は何の日?」の問いで「憲法記念日」と正解

となった。誤回答・無回答は79人（76・0%）だった。

誤回答として、「建国記念日」「憲国記念日(ママ)」が合わせて6人、「ごみの日」(4人)や「こどもの日」(6人)「みどりの日」(4人)が目立った。

設問2「憲法は変えるべきか?」という問いに対して、改憲賛成(変えるべき、どちらかといえば変えるべき)の回答数が16人(15・4%)に対して、改憲反対(変えるべきでない、どちらかといえば変えるべきでない)の回答数が22人(21・2%)と上回った。ただし、「わからない」と回答した若者が66人(63・5%)と相変わらず多数を占めた。

変えるべき派の意見としては、「(どこを変えたいか)9条」という回答のほか、「現代社会向きではない」「新しい時代にあつていないところ、男女差別など」といった日本国憲法が時代に合わなくなっているという

認識の回答が2件。最も多かったのが、「同性婚ありにしたい」「LGBTの人たちの対応」というような性的マイノリティの権利に関する回答で、4件にのぼった。昨年は、ロシアによるウクライナ侵略の影響もあり、憲法9条・安全保障に関する自由記述が圧倒的に多かったが、今年ほとんど見受けられなかった。一方で、個人の尊厳や人権の尊重について若者の関心が高いことがうかがえた。

ほかに「タトゥーが入っていたら温泉に入れないというところ」という意見もあった。



設問3「憲法9条については変えるべきか」という問いに対しては、9条を変えたいと回答した若者は10人(9・9%)にとどまり、変えるべきでない」と回答した若者は59人(56・7%)だった。「わからない」と回答した若者も35人(33・7%)いた。

9条を変えたいと回答した若者からは「攻撃された時国を守る」「治安維持のため」という意見があった。反対の意見としては「戦争は武器を使うことによっては始まると思うから」「過去の悲劇を二度と引き起こさないため」「戦争は嫌!」などといった回答があり、明確に戦争に対する拒否感を示す自由記述が26件と多数を占めた。

戦争という言葉を使って9条が変えられることが戦争につながるのではないかと不安と、9条によって平和が守られてきたという認識が強かった。

沖縄連帯行動

大阪平和委員会は、沖縄「返還」からちょうど52年目の5月15日正午から1時前まで近鉄上本町駅前前で沖縄連帯行動を11人の参加で実施しました。

この行動を通して「辺野古新基地建設の断念を求める署名」を12筆集めることができました。

上羽治雄事務局長と天王寺平和委員会の平嶋正さんとうたごえ協議会の鬼塚良弘の3人が、マイクを通して「今日沖縄は本土に復帰して52年目を迎えました。しかし、沖縄は今なお巨大な米軍基地が居座り、経済発展がさまたげられているだけでなく、岸田政権による『安保3文書』などで、本格的な軍事要塞にされようとしています。」



「辺野古新基地建設を止めさせ、ジュゴンの生息する辺野古のきれいな海を守るため署名にご協力をお願いします」と訴えました。

署名に協力してくれた70代の女性は、署名をしながら「今にも第3次世界大戦が起こりそうです。今こそみんなで何かしていかねあかん」と励ましてくれました。

日本平和委員会 第74回定期全国大会の開催要項

●日	時	6月14日(金) 13時半~15日(土) 15時	神戸市垂水区
●日	程	14日 12:00	受付
		13:30	全体会(開会集会)―議長選出、開会あいさつ、報告と提案、全体討論など
		17:30	終了
15日	9:30		分科会
	11:45		昼食・移動
	13:00		全体会―分科会報告、討論のまとめ、議案採決、開会あいさつなど
	15:00		閉会